

# 町政を問う 一般質問

一般質問では、議員が町に対して、町政全般にわたって施策を問いただす。  
6月定例会では8人の議員が登壇し、一般質問を行った。

議会だよりでは、質問と答弁の要旨をまとめており、全文記録（会議録）は町ホームページに掲載している。

## 一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
小中学校給食費の保護者負担の完全無償化、一部助成を求める	林 敏哉	7
文化財の普及・啓発活動の取組は	荒木 瞳子	8
駅の階段のバリアフリー化の取組は	福田 史治	9
GIGAスクール構想による弊害について		
2万円分のマイナポイント事業支援を	竹本 信次	10
無人駅を活用し地域を元気に		
特定健診の効果と課題、更なる取組は	福本みや子	11
大規模な豪雨に耐え得るのか	磯野 博	12
六栄小学校正門に門扉の設置を	濱村 芳光	13
通学路の整備について	濱崎 久	14
金魚と鯉の郷広場の環境整備を		
不服であれば、なぜ控訴しなかった		

※一般質問のページではマスクを外して写真撮影していますが、議場内ではマスクを着用しています。





## 小中学校給食費の保護者負担の完全無償化、一部助成を求める

### 答 給食費の一部負担を検討する

全 国的にも近隣でも、学校給食費の無償化や一部を助成する自治体が増えている。これは保護者負担の軽減につながり、子育て支援の推進や少子化対策、さらには若い世代の定住促進にもつながると考えられるが。

（教育長職務代理者）

経済的支援を要する家庭には、就学援助制度により給食費をはじめとした教育費用を支援している。

県下では玉東町が小中学校

問

で、荒尾市が小学校で給食費の完全無償化を行い、南関町は月二千円の助成を行っている。この背景には何があると考えるか。

（学校教育課長）

貧困対策や、コロナ禍での家庭への経済的打撃が無償化の動きを加速させている。

問 学校給食法第1条や、教育基

本法の前文に基づけば、学校給食は教育の一環として位置づけられる」と解釈するが。



学校給食は教育の一環

問 町は、荒尾市と共同で荒尾市内に新しい学校給食センターを建設し、9月1日より稼働するが、ここで調理された同じ給食が荒尾市と町の小中学校に配達されることを、町の保護者は知っているのか。

（学校教育課長）

一部の保護者から聞いてい

る。不平等感を解消するために、何らかの対策が求められると思うが。

（学校教育課長）

保護者の負担が増えてきているのは承知している。原油価格や物価の高騰の対策として国が補正予算を組んでおり、今後、無償化はまだできないが、給食費の一部助成については検討していく。

（町長）

保護者の負担が増えてきているのは承知している。原油価格や物価の高騰の対策として国が補正予算を組んでおり、今後、無償化はまだできないが、給食費の一部助成については検討していく。

問 憲法第26条第2項では「義務教育は、これを無償とする。」と掲げられている。学校給食が教育の一環であれば、給食費の無償化を行なうべきではないか。

（学校教育課長）

義務教育の対象となる内容の詳細については、法律の規定に委ねられる。



## 文化財の普及・啓発活動の取組は

答 学校や各種団体等の学習の場で  
啓発に取組んでいる

町には、数多くの神社、石碑、御堂や地蔵さん等、歴史を物語る文化財がある。それらを紹介した冊子「長洲町文化財探訪」「訪」が制作されたが、利活用を伺う。



貴重な文化財が満載

答 (教育長職務代理者)  
令和2年度、町文化財保護委員の方々が中心となり、指定文化財20点を写真や文章で紹介した「長洲町文化財探訪」を制作した。ホームページや学校や各種団体で啓発活動に取組んでいる。

問 小中学校の児童生徒への啓発  
の取組を具体的に伺う。

答 (生涯学習課長)  
令和2年度は長洲小学校3年生の社会科の授業の一環で、「長洲町の成り立ちと文化財」という



町最古の石碑、明徳碑  
(西新町区)

問 子ども達が町の成り立ち等郷土の歴史や文化を学ぶことは、郷土愛を育むうえでも大変重要なと思う。地域の各種団体等で、どのような啓発の取組をしているか伺う。

内容で、500年前の加藤清正公による干拓から始まり、明治時代の鉄道の開通、50年前の有明・名石浜工業団地の埋立てに伴う大型企業の進出等、パワーポイントを使つた授業を行つた。また、令和3年度は、腹栄中学校1年生の社会科で「ぼたもちさんと立花闘千代とその時代」として、手作りの映像資料を用いて授業を行つた。他の学校も、同じく社会科の授業の一環として行つた。

問 今後、町の歴史や文化財の更なる普及・啓発及び後世への継承を図るためにも、文化財保護委員、郷土史クラブ、歴史等に詳しい方々の協力をいただきながら、収集及び作成できる資料を整備し、最終的には歴史資料館ができると思うが、考えを伺う。

答 (町長)  
様々な資料を整備していくことや、資料館の整備等についても重要であると考える。今後は、保管場所や財政状況等もふまえて検討していく。

答 (生涯学習課長)  
令和2年度は、腹赤新町区、町地域婦人会、町商工会、町文化協会、令和3年度は、腹赤小学校、ジュニア防災リーダー塾、向野区、また高齢者支援施設「げんきの館」で、ふるさと教育として町の歴史や文化財の講座を行つた。



## 駅の階段のバリアフリー化の取組は

答 現状の駅利用者数では今も設置は厳しい



46段の階段は自力で上るのが大変

問 高齢化が進むので、エレベーターではなく、簡単な階段式でも難しいのか。

### GIGAスクール構想による 弊害について

答

児童生徒の眼に負担が生じない授業づくりに努めたい

問 退等、健康への影響についてどのように考えているか。

答 (教育長職務代理者)  
タブレット利用による視力減退等、健康への影響について、どのように考えているか。

問 学校現場の改善や家庭での適切な利用法の周知等に努めたい。ブルーライト等、将来の子ども達への眼の健康障害への影響について対策は。

答 (まちづくり課長)  
塊の世代が高齢化を迎え、以前から懸案の駅階段のバリアフリー化、端的に言えば階段昇降機の設置等への取組が過去にも求められたが、現段階での町の考えは。



前から懸案の駅階段のバリアフリー化、端的に言えば階段昇降機の設置等への取組が過去にも求められたが、現段階での町の考えは。

答 (まちづくり課長)  
安全上の問題等があり、財政的・制度的に難しい。

問 長洲駅と有明フェリー双方を結ぶための、乗捨て運行できるレンタル自転車を配備してはどうか。

答 (まちづくり課長)

港と駅の間に予約型乗合タクシーが運行しており、両施設にタクシーも常時待機しているので、レンタル自転車の配備は今のところ厳しいと考えている。



子ども達の視力減退が心配！

答 (教育長職務代理者)  
児童生徒が就寝前にタブレットやデジタル機器を使用しない等、保護者に対して周知・啓発を行っていく必要がある。

問 今後一IT眼症、眼精疲労等を考慮して、定期的な視力検査を実施し、一人一人の視力の追跡ができるのか、町の考えを伺う。

答 (教育長職務代理者)  
児童生徒の眼に過度の負担が生じないような授業づくりに取り組んでいきたい。



## 2万円分のマイナポイント事業 支援を

答 役場窓口で  
手続きの補助を行っている



マイナンバーカードの  
普及・利活用の促進を

答 これまでに郵便局、公民館、  
企業等に出向きマイナンバーカー  
ドの出張申請を行っている。申請  
組んでいるか。

答 マイナンバーカードの出張申  
請やスマートで顔写真の無料撮  
影、必要事項を入力する等、オン  
ライン申請補助サービスにどう取  
組んでいるか。

答 月からスタートした国のマイ  
ナポイント事業は2万円分の  
ポイントが付与される。本事業の  
支援にどう取組んでいるか。

者の手間を極力省ける機能を持つ  
たタブレットを用い、窓口でも手  
軽にカードを申請できる。

含め、検討する。

## 町政を問う



無人化された駅の新たな活用を

答 地域での活用を検討する  
無人駅を活用し地域を元気に

者として活動する「民間駅長」  
を募集する等の取組が話題となっ  
ている。地域再生と活性化を目的  
に、無人駅を活用した新たなまち  
づくりの取組はできないか。

問 今、無人駅化された自治体で  
は、駅舎にカフェスペースを  
作り地域交流サロン（ふれあい喫  
茶）としたり、地域特産品の販売  
施設や、駅に駐在しコーディネ  
ーターとして活動する「民間駅長」  
を募集する等の取組が話題となっ  
ている。地域再生と活性化を目的  
に、無人駅を活用した新たなまち  
づくりの取組はできないか。

含め、検討する。

答 地域商品開発と無人駅の活用  
で、地域をより元気にするア  
イデアの一般公募ができないか。

答 魅力的な駅づくりに向けたア  
イデア募集や、地域での活用等を

答 このことは、いろんな形で検  
討していかなければならないと  
思っている。今の質問内容等を十分  
熟知して、取組んでいく。  
性化する、新たなまちづくりの考  
えはあるか。

答 駅周辺は、地域の活性化を図  
るとともに町の玄関口として環境  
整備を進める必要があり、都市計  
画マスター・プランにおいても重点  
地区と位置づけ、商業施設等の誘  
致や、より一層の住宅地整備に取  
組んでいく。



## 特定健診の効果と課題、更なる取組は

答 受診勧奨に努め  
ICTで健康増進をすすめていく



特定健診で1年間の安心を！

福 確実に速やかに実施されなければならない。本町の特定健診施策の効果と課題、今後の取組をどう考えるのか。

答（町長）

自身の体の状況を把握し、保健指導により生活習慣病の改善や適切な治療につながる効果がある。課題は受診率の伸び悩みだ。新規の国民健康保険加入者への説明、電話や通知等による個別勧奨に加え、本年度から健康ポイント事業で健診を必須条件とし、受診率の向上に努めている。健診で早期発見、早期治療につなぎ、町民の健康増進に取組む。

答（福祉保健介護課長）

1回の来所でがん検診、後期高齢者健康診査、特定健診が同時に受診できる。40歳から70歳までの5歳刻みの節目年齢は、特定健診が無料。6月の集団健診は、休日も含め実施日数を増やした。会場まできんぎょタクシーを無料で利用できる等、誰もが受診しやすい体制整備に力を入れている。

問 本町の特定健診の特徴は。

（福祉保健介護課長）

特定健診対象の60歳から74歳までは、男女とも未受診者が多い。特に受診勧奨が必要だ。対策や取組があるのか。

答（福祉保健介護課長）

未受診の理由の多くは、待ち時間や会場までの送迎の問題。混みあわしいよう受付時間を工夫し、きんぎょタクシーを無料にする等改善に努め、受診勧奨とともに改善の取組を知らせている。

また、退職等で新たに国民健康保険に加入する人に、窓口手続きの際に受診をすすめている。

問 特定健診の必要性を知らせる  
と、どんな効果があるのか。

答（福祉保健介護課長）

自身の健康状態の把握、生活習慣の見直し、病気の重症化予防、各種保険税の軽減、町の財政負担軽減等の効果がある。

問 スマホ教室で高齢者の利用が  
進んでいる。学びを活かして  
健診の申込や、保健師との相談や  
栄養士の料理教室の配信等、ICT  
活用に取組めないか。

答（町長）

ICT社会を迎える、スマホでの健診申込、動画配信、相談体制確立をすすめていく考えだ。



健康を貯金し、グッズもゲットしよう！



## 大規模な豪雨に耐え得るのか

答 河川の氾濫はないと認識している

線 状降水帯による大規模な水害が全国で多発、発生している。防災計画の見直しは。

災害に強いまちづくりを！



答 (町長) 每年、出水期前に県地域防災計画の変更等を反映させた見直しを行っている。6月2日の町防災会議で計画修正案の承認が行われたところだ。

問 雨水、出水ハザードマップの作成はどうか。

答 (町長) 今年度より雨水対策事業を行っている。令和5年度に内水ハザードマップを策定する。

答 (町長) 每年、出水期前に県地域防災計画の変更等を反映させた見直しを行っている。6月2日の町防災会議で計画修正案の承認が行われたところだ。

問 令和2年7月豪雨の大牟田市の降水量は665.5ミリだった。同じような降水量で果たして本町は対応可能か。

答 (総務課長) 本町ではハザードマップ、洪水ハザードマップの更新をかけている。最大規模の雨量で8時間730ミリだ。浦川流域で一応耐え得るところであるが、海の状況や干満の状況等により必ずとは言えないが、ハザードマップでは河

町を挙げて  
町民の気づきが必要だ  
● 情報交換・情報収集を行つ  
ていく

問 本町のインフラ、道路側溝等は、どの程度の雨量まで対応が可能か。

答 (町長) 道路側溝は、道路の種類、規格、交通量及び沿道の状況を考慮して断面を算定している。3年確率の降雨強度値を適用して算定を行っている。

問 河川の氾濫はないと認識している。うことだが、かなりの地域で浸水するのではないか。

答 (総務課長) 浸水は想定されるが、これは8時間雨量の場合になるので、大牟田市の場合と比べると時間的猶予等は、異なるものであると考えている。

川の氾濫はないと認識している。河川の氾濫はないと認識している。うことだが、かなりの地域で浸水するのではないか。

問 昨年の一般質問で、道路側溝の土砂の堆積について質問したが改善はしているか。

答 (建設課長) 令和3年度の実績で8件改善している。

問 解消していないところはまだまだある。行政も町民も一緒にになって不具合箇所を発見して、改善していく必要があると思うが。

答 (建設課長) 地元の方から要望等があり、把握した箇所は隨時取組んでいく。



## 六栄小学校の正門に門扉の設置を

### 答 学校と協議して対応する

答 (教育長職務代理者)  
正門の網は、児童が道路に飛び出して交通事故に遭わないために設置している。網の経年劣化の状況に合わせて、事故防止に注視しながら対応していく。



門扉代わりに使用されている物

八 栄小学校の正門には、木に網を張った物を門扉代わりに使用している。放課後や土、日、祭日等には児童が学校に自転車等で遊びに来て出入りをしているが、交通事故に遭わないか心配である。また、景観からしても相応しくない。早急に対策が必要である。今後の取組は、

交通事故防止のために設置したとのことだが、今でもボールは飛んでくる。今までに門扉の設置を検討されなかつたのか。

答 (学校教育課長)  
両サイドからのレール式の門扉の検討は行っているが、両端のり面があり、スペースが取れないということで、早急に事故防止を防ぐために網を張った物で対応している。

問 今の状況では設置しにくいと  
いうことだが、例えば両開きの門扉であればスペースがなくても設置できるし、ある程度金額も抑えられる。設置する考えはない  
か。

答 (学校教育課長)  
現在は網を張っているが、経年劣化した際にどのような形状の門扉がいいか、学校と十分協議をして対応していく。

答 (学校教育課長)  
工事に合わせて通用門を閉鎖し、児童は正門から出入りする。これに関しては事前に学校、PTAと協議し、変更するところで伝えている。登下校時は車に十分注意を払うよう学校で指導を行つているが、児童が事故に遭わないための対策を講じていく。



問 現在、多くの児童が東側通用門から登校している。しかし、体育館の改修工事が始まるとき、正門から登下校が増えてくる。東門等の車両も多い。登下校の指導について伺う。

狭くなっている道幅



はまさき  
濱崎 ひさし  
久  
議員

## 通学路の整備を

答 補修する

白 転車通学の中学生が、道路の雨だまり被害を受けている。大型車が雨だまりを跳ね上げ、かきながら通学する姿は忍びない。改善すべきではないか。

（町長）

パトロール等により危険箇所を把握し、関係機関と点検を行い、通学路の安全対策を連携し行っている。指摘の路面は、車両が通行することで生じたわだち掘れがある。この補修を対応する。

### 金魚と鯉の郷広場の環境整備を

答 管理を徹底し課題を解決する

問 植木の管理が非常に悪い。植木の間から雑木が生え歯抜け状態となっている。藤棚の棚目体が腐食している。

問 桜の木の下を気持ちよく散歩していた住民が、伐採を残念

（町長）

皆さんが安全・安心して利用できるよう、池の水も含めて管理を行う。

きれいになった金魚と鯉の郷広場



早速、改修された通学路

不服であれば、なぜ控訴しなかった

答 判決を真摯に受け止めた

問 長洲中学校の暴力事件について、町は裁判で、説明は虚偽と指摘され、損害金を税金から支払っている。これは教育委員会が確認作業を怠ったことが答弁の誤りを引き起こした原因ではないか。

答（学校教育課長）当時から教育委員会で保管義務があるものとしては管理していなかった。

問 教育委員会が管理していたものでないという答弁は、どういう確認をして答弁したのか。

答（学校教育課長）判決では、保管・管理が教育委員会にあつたと判断されたが、その存在自体を確認していなかった。

結果的には、認識が不足していたと判決が下された。判決の内容は真摯に受け止める。